

公開保育ルポ  
ねやがわ寝屋の森  
こども園  
(大阪府)

5歳児ぞう組・公開保育のテーマ

# 食育「さつまいも」

さつまいもについて知ろう！そして作ってみよう、芋づるの佃煮



## ねらい

- 継続して探求していく楽しさを味わう。
- 廃棄するさつまいものつるを、使った佃煮を作り、芋の部分以外にも食べたり利用できたりすることを知る。
- 寝屋川市の特産品である「さつまいも」について詳しく探求し、ひとつのことから派生して活動に広がっていくことの楽しさを味わう。

## 特に見てもらいたい視点

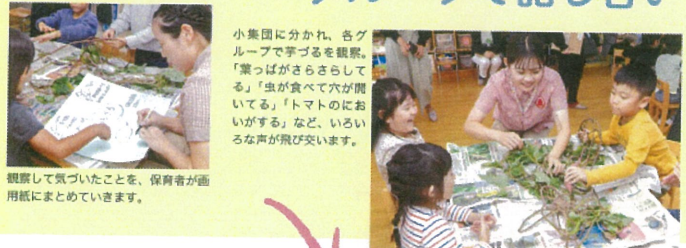
1. 子どもたちがさつまいもについて考えたことや経験したことを通して話し合いを行い、友だちの意見を聞いたり自分の意見を言ったりする姿。
2. 栽培を通して養ってきた食への興味・関心の深まり。
3. いろいろな視点でさつまいもについて捉える姿。

## 導入



今までのさつまいもに関する取り組みの写真や図鑑を見ながら、調べてきたことをクイズなどで振り返ります。  
(右) 公開保育の視察に来園した寝屋川市の広瀬市長もクイズに参加。

## グループで話し合い



小集団に分かれ、各グループで芋づるを観察。「葉っぱがさらさらしてる」「虫が食べて穴が開いている」「トマトのにおいがする」など、いろいろな声飛び交います。  
観察して気づいたことを、保育者が画用紙にまとめていきます。

## 発表



各グループの代表者が、芋づるを観察して気づいたこと、わかったことなどを発表。

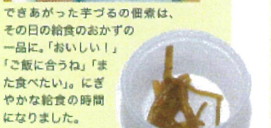
## 調理の下準備

子どもたちもエプロンを着用し、調理の下準備。芋づるの皮をむいて、きれいに水洗いします。

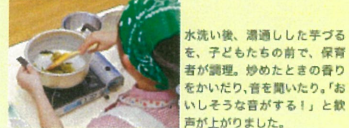


「これから、芋づるで佃煮を作ります。調理師の先生が、佃煮の作り方を説明します。」

## 調理



## 食べる



できあがった芋づるの佃煮は、その日の給食のおかずの一品に。「おいしい」「ご飯に合うね」「また食べたい」にぎやかな給食の時間になりました。

水洗い後、湯通しした芋づるを、子どもたちの前で、保育者が調理。炒めたときの香りをかいだり、音を聞いたり。「おいしいそうなきがする！」と歓声が上がりました。

寝屋川市長も公開保育に参加しました  
大阪府寝屋川市 広瀬慶輔市長

**園児のリアルな育ちの姿を見られる貴重な体験に**  
本市では、「寝屋川教育」と称して、市独自の教育カリキュラムを推進しています。学力や非認知能力の基礎となる考える力の向上を目指し、小学校ではディベートを実践するなどして成果を上げています。現在は、この寝屋川教育を就学前教育に取り入れるためのプログラムを作っているところです。今回は、芋づるの観察を通じて対話を重ねる園児の姿を見られ、貴重な体験ができました。市内の園でこのような公開保育が広がれば、就学前教育・保育の充実につながることを期待しています。

## 公開保育を終えて

園の風通しのよさが感じられる保育でした



保育総合研究会会長  
こども園のがしどおり理事長  
坂崎隆浩先生

見学されていた市長を巻き込むなど、その臨機応変なアドリブ力で、子どもを引きつけるよい保育になっていました。保育者が自分らしい保育をできるのは、それを認める園の土壌があるからだと感じました。

小学校でも取り入れたいかわりのヒントがたくさん



寝屋川市立宇谷小学校校長  
北條幸子先生

先生方がとても丁寧に子どもにかかわっていて、小1の担任には非常に参考になるかわり方だと感じました。5歳児の育ちを実際に見ることも、幼保小の連携をスムーズにするにはとても大切なことですね。

客観的な評価を得られ貴重な経験になりました



5歳児ぞう組担任  
小松高貴先生

自分の保育を振り返っても、正直、「これでいいのか？」と思うことばかりでした。今日の公開保育で経験豊富な先生方からの評価をいただき、「これでよかったんだ」と思えたことは大きな自信になりました。

自分の保育に対して、多くの気づきがありました



3歳児きりん組担任  
折山優那先生

客観的に保育を振り返ることが苦手なので、今日は様々な評価や意見をいただくことができ、多くの気づきを得られました。準備は大変でしたが、深く保育に向き合うことができ、とても楽しかったです。